

第52期

中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日



技研興業株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援とご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは平成21年9月30日をもちまして第52期第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに当社グループの営業の概況と四半期決算の状況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、よろしくご高覧のうえ、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 中濱 昭人

当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年度より続く世界同時不況の影響を受けた景気の悪化に一部業種で底打ちの兆しが見られるものの、雇用情勢は改善されず、個人消費や企業の設備投資に対する姿勢は依然慎重であり、景況感先行きの不安感を払拭しきれないまま推移いたしました。

当建設関連業界においては、設備投資に対する慎重な姿勢や公共投資の継続的な縮減等により総じて低調であり、業者間の受注競争も激化し引続き不透明な受注環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、積極的な営業活動で攻めの経営を貫くとともに、顧客のニーズに即した効率的な提案営業の強化により、当第2四半期連結累計期間の受注高は56億6千3百万円（前年同期比21.3%増）を計上することができました。売上高は当連結会計年度より適用した工事進行基準による売上高の増加もあり、43億3千1百万円（前年同期比25.6%増）となりました。利益面につきましては、当建設関連業界特有の季節的な要因から、各事業部門の固定費及び一般管理費を吸収できるまでの粗利益確保が困難であったものの、徹底的なコスト削減が奏功し、当第2四半期連結累計期間の営業損益は、2千7百万円の損失（前年同期は2億4千6百万円の損失）、経常損益は2千9百万円の損失（前年同期は2億4千7百万円の損失）、四半期純損益は5千万円の損失（前年同期は2億7千6百万円の損失）となり、前年同期に比べ損失幅が大幅に縮小し、利益水準に改善がみられました。

対応すべき課題と経営戦略

当社グループは、長らく型枠貸与関連事業に依存した収益構造にあり、長期的なトレンドにおいては公共投資の削減傾向が継続すると予測されるなかで、官需依存の体質が業績低迷の主要因となっていることから、この状態を打開することが急務であり、また大きな課題となっております。

当社グループの長期的な業容の改善については、現在多方面から検討中でございますが、まずは各事業分野それぞれにおいて、事業の健全化と収益構造の強化を図るため聖域なき固定費削減を経営戦略として掲げてまいりました。

当第2四半期連結累計期間においては、これらの戦略が損失幅の縮小、利益水準の改善といった結果となり一定の成果がみられましたが、年度後半にむけても営業力強化と利益率向上を念頭においた選別受注、期間損益の黒字化、不採算事業の抜本的構造転換による組織のスリム化等を掲げ、当社グループが一丸となり、計画達成へ向け全力で邁進する所存であります。

セグメント別の概況

❖土木関連事業

法面保護工事が主体の当事業は、企業間競争の激化する厳しい営業環境の中、受注が見込める地域に重点的に営業展開したものの、受注高は12億8千8百万円（前年同期比0.8%減）となりました。また、売上高は一部の工事に進捗の遅れが見られたものの工事進行基準適用の影響により、売上高は11億9千3百万円（前年同期比35.9%増）となりました。

（単位 千円）

年度別	前期繰越額	受注額	売上高	繰越額
第52期第2四半期累計期間	954,956	1,288,082	1,193,502	1,049,536
第51期第2四半期累計期間	754,281	1,299,398	877,756	1,175,922
増減	200,675	△11,316	315,745	△126,386

❖建築関連事業

医療施設向けの放射線防護、電磁波シールド工事等が主体の当事業は、積極的な営業活動を展開した結果、大口案件の受注の影響もあり、受注高は23億1千2百万円（前年同期比21.4%増）となりました。また、売上高は工事の進捗が概ね順調であったこと及び工事進行基準適用の影響により、14億7千3百万円（前年同期比30.8%増）となりました。

（単位 千円）

年度別	前期繰越額	受注額	売上高	繰越額
第52期第2四半期累計期間	1,769,170	2,312,966	1,473,432	2,608,704
第51期第2四半期累計期間	1,812,010	1,904,338	1,126,061	2,590,287
増減	△42,839	408,628	347,370	18,417

❖型枠貸与関連事業

波消ブロック製造用型枠の賃貸及び環境保全型ブロック等の製造販売が主体の当事業は、公共関連事業の減少の影響を受けながらも一部に災害関連の比較的大型の受注があったため、受注高14億6千9百万円（前年同期比11.9%増）となりましたが、売上高は11億8千4百万円（前年同期比4.3%減）にとどまりました。

（単位 千円）

年度別	前期繰越額	受注額	売上高	繰越額
第52期第2四半期累計期間	125,353	1,469,915	1,184,398	410,870
第51期第2四半期累計期間	230,027	1,313,130	1,238,144	305,013
増減	△104,674	156,785	△53,745	105,856

❖その他の事業

当事業のうち不動産の賃貸収入は一部テナントの異動があったものの、前年同期と同様に推移しました。戸建住宅等不動産の販売及びリフォーム事業については、在庫不動産を積極的に消化する一方、公共関連施設の改修工事を受注したことにより、受注高は5億9千2百万円（前年同期比290.2%増）、売上高は4億7千9百万円（前年同期比132.8%増）と大幅に改善いたしました。

（単位 千円）

年度別	前期繰越額	受注額	売上高	繰越額
第52期第2四半期累計期間	65,480	592,501	479,993	177,987
第51期第2四半期累計期間	102,776	151,807	206,159	48,425
増減	△37,296	440,694	273,834	129,562

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位 千円)

科 目	期 別	金 額	
		当第2四半期末 (第52期) (平成21年9月30日現在)	前期末 (第51期) (平成21年3月31日現在)
(資産の部)			
流 動 資 産		4,789,943	5,160,659
固 定 資 産		3,685,313	3,758,310
有形固定資産		3,296,610	3,348,148
無形固定資産		69,931	76,488
投資その他の資産		318,771	333,672
資 産 合 計		8,475,256	8,918,969
(負債の部)			
流 動 負 債		2,902,828	3,217,697
固 定 負 債		314,390	389,589
負 債 合 計		3,217,219	3,607,286
(純資産の部)			
株 主 資 本		5,227,699	5,280,123
資本金		1,120,000	1,120,000
資本剰余金		1,473,851	1,473,851
利益剰余金		2,660,681	2,711,475
自己株式		△26,833	△25,204
評価・換算差額等		30,337	31,559
純 資 産 合 計		5,258,037	5,311,682
負債及び純資産合計		8,475,256	8,918,969

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位 千円)

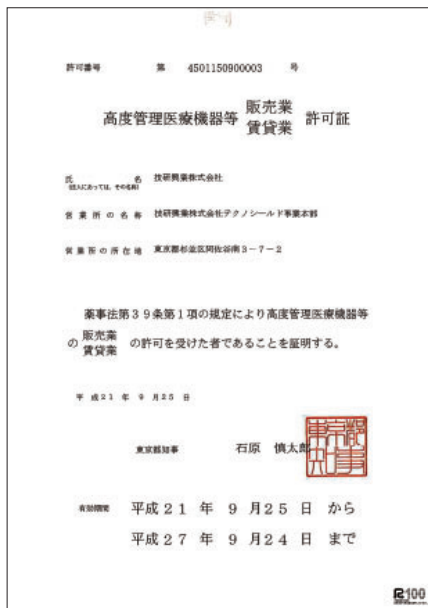
科 目	期 別	金 額	
		当第2四半期 (累計) (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	前第2四半期 (累計) (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売 上 高		4,331,326	3,448,122
売 上 総 利 益		561,354	112,221
営 業 損 失 (△)		△27,276	△246,143
経 常 損 失 (△)		△29,531	△247,859
税金等調整前四半期純損失(△)		△38,369	△241,571
四 半 期 純 損 失 (△)		△50,794	△276,240

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位 千円）

科目	期別	金額	
		当第2四半期（累計） （自平成21年4月1日） （至平成21年9月30日）	前第2四半期（累計） （自平成20年4月1日） （至平成20年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,649,581	132,728
投資活動によるキャッシュ・フロー		△74,591	△121,286
財務活動によるキャッシュ・フロー		△565,313	△61,801
現金及び現金同等物の増減額		1,009,677	△50,358
現金及び現金同等物の期首残高		296,700	557,559
現金及び現金同等物の四半期末残高		1,306,377	507,200

トピックス



東京都より高度管理医療機器等の販売・賃貸業の許可を取得しました。
機器の能力を最大限に活かす医療環境作りを併せてご提案します。



全区画30坪以上のひな壇分譲地
さいたま市大宮区にて好評販売中

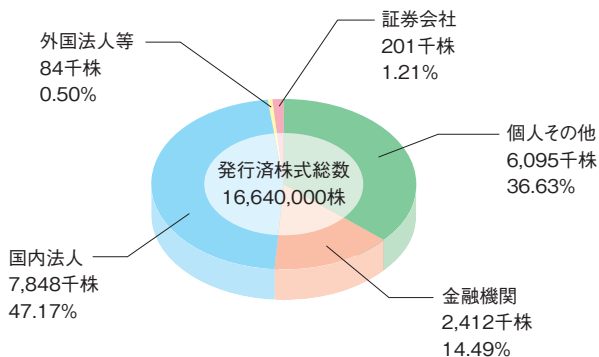
株式の状況 (平成21年9月30日現在)

発行可能株式総数	66,000,000株
発行済株式総数	16,640,000株
株主数	5,728名
	(単元株主数 1,056名)

❖大株主（上位10名）

株主名	所有株式数	持株比率
フリージア・マクロス株式会社	4,299千株	25.83%
株式会社イチヤ	1,276	7.66
有限会社ケイエムシー	850	5.10
株式会社みずほコーポレート銀行	793	4.76
清水直	657	3.95
株式会社三菱東京UFJ銀行	559	3.35
角田式美	379	2.27
技研興業従業員持株会	369	2.21
明治安田生命保険相互会社	321	1.92
中央三井信託銀行株式会社	300	1.80

❖所有者別株式分布状況



会社の概要 (平成21年9月30日現在)

商号 技研興業株式会社
所在地 〒166-0004
東京都杉並区阿佐谷南三丁目7番2号
TEL 03 (3398) 8500
URL <http://www.gikenko.co.jp/>
設立 昭和33年7月9日
資本金 11億2,000万円
従業員数 203名
主な事業所 札幌市、仙台市、さいたま市、名古屋市、大阪市、福岡市、八王子市（総合技術研究所）

❖連結子会社の概要

商号 株式会社ゼックス
所在地 〒193-0801
東京都八王子市川口町1540
資本金 35,000千円
事業内容 建設コンサルタント業

商号 日動技研株式会社
所在地 〒164-0013
東京都中野区弥生町四丁目34番8号
資本金 85,000千円
事業内容 建設資材のレンタル及び販売

❖役員

代表取締役社長	中濱 昭人
取締役執行役員	澁谷 英夫 (管理本部長)
取締役執行役員	木村 温 (土木事業本部長)
取締役執行役員	高祖 進 (製品事業本部長)
取締役執行役員	柳原 洋一 (テクノシールド事業本部長)
常勤監査役	阪本 稻男
監査役	説田 恒彦
監査役	神田 豊實
監査役	小野 紘一

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日
公告	電子公告により、当社ホームページ (http://www.gikenko.co.jp/kokoku.html) に掲載いたします。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
郵便物送付先	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
〔電話照会先〕	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
〔同取次窓口〕	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

(お知らせ)

- ・住所変更、単元未満株の買取・買増等のお申し出について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がない株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)で指定されていない漢字等が含まれている場合には、その全部または一部をほふりで指定された文字に変換して、ご案内をさせていただいておりますので、ご了承ください。